

陳情番号	100
付託先委員会	総務文教委員会
審査結果	

浜田市議会議長様

中期財政計画の投資的経費や普通建設事業費が、毎年度予定していた額を大幅に上回り続けている理由と今後の対策について、分かりやすい説明を求める陳情

浜田市では毎年度中期財政計画を策定し、向う10年の歳入と歳出について計画値を示しています。この中で、投資的経費や普通建設事業費について、毎年度、2年後3年後には数十億円減らしますという計画を立てています。しかし、実際に翌年度の計画、翌々年度の計画を見ると、その通り減らずに激増していたりします。

災害復旧等、予期しない部分が増えるのは仕方ない面があると思いますが、普通建設事業費はサマーレビュー等を積み上げて、計画的に予算化されていると説明を受けました。これが例えば令和元年の計画では令和2年には35億、令和3年には23億に減らすとしていたものが、翌年の計画では令和2年56億、令和3年34億に増えています。また、同様に令和2年度の計画では令和3年度は34億に、令和4年度は36億に減らすとしていますが、実際には令和3年度になれば56億、令和4年度には66億を計上しており、2年後3年後に30億や40億増えたりしています。中期財政計画なので5年程度先まではある程度高い確度で見通すという目的があるはずですが、少なくとも投資的経費や普通建設事業費については2年後についてすら見通せていない状態です。正確に先を見通すことはとても難しいため、計画どおりにいかないことも多いのは理解できますが、ハコモノやインフラの計画的な整備についての計画もあるため、それが当年度や前年度に何十億円も激増するというのは、どういう理由なのかがわかりませんし、信頼度、実効性が低いとも言えます。去年言っていたのと全然違う場合、理由の説明や検証も必要なのではないかと思えます。

毎年度かなりの増額になっている理由と、この計画の信頼度、実効性向上のために行うべきことについて、市の考え方をわかりやすく説明していただけるよう、執行部に働きかけて下さいます様、お願い申し上げます。

2023年6月1日

浜田市国分町

三島淳寛

